

「カムイのうた」に込める願い

北海道には、言語や宗教、文化の独自性を有する先住民族であるアイヌの人々が暮らしています。

アイヌ語は文字を持たず、口語伝承のみで継承されてきた中で、知里幸恵さんという一人のアイヌが命を懸けて「アイヌ語」を文字に残しました。

映画『カムイのうた』は、大雪山の地域の自然の美しさを描きながら、知里幸恵さんの生涯をモデルに物語を紡ぎ、虐げられてきたアイヌ民族の文化の重要性を伝えていくと共に、差別のない世界を目指すための作品です。

アイヌが暮らしていた自然環境の豊かさ、社会環境の厳しさを通して、文化や価値観が多様であることの尊さ、北海道が世界に誇るアイヌ文化の素晴らしさを伝えるために製作しました。

また、この作品を通じて、差別や迫害という過去・歴史だけではなく、今この瞬間にも「いじめ」や「差別」、「紛争」といった問題が発生していることを再認識していただきたいです。これからの社会を作り上げていく次世代にとって、国内外の社会問題を解決し、共和共生の社会を実現するきっかけの一つになれば幸いです。

映画の製作にあたり、多くのご支援をいただきました皆様に心から感謝とお礼を申し上げます。またこの映画に関わっていただいた皆様にも感謝いたします。ありがとうございます。



写真文化首都「写真の町」北海道東川町

北海道 東川町について

北海道のほぼ中央に位置し、北海道最高峰の旭岳（2,291m）をはじめ、美しい田園風景の広がる人口約8,600人の自然豊かな町です。「東川」は、アイヌ語のチュプベツ（Chup Pet）の意訳であり、「水源が東にあり日月の出る処」から名付けられたものとされています。

稲作を中心とした農業と、木工業、観光業が主な産業です。大雪山からの伏流水の恵みを一身に受け、全国でも珍しく全戸が地下水で生活しています。町の東部は日本最大の大雪山国立公園に含まれ、可憐な高山植物、鮮やかな紅葉、一面のパウダースノーなど、登山をはじめとしたアクティビティなど、四季折々の姿で世界中の旅行者を魅了しています。

1985年には写真の町を宣言し、「写真映りの良い町」を目指し、写真を核国内外との交流を進めるなど、文化を通じたまちづくりに取り組んでいます。

家具の産地でもあり、旭川家具の主要産地となっているほか、日本初の公立日本語学校を開設し、日本語留学生在が暮らすなど国際交流が盛んな町でもあります。



東川町公式
ホームページ



映画「カムイのうた」に関するお問い合わせ：
写真文化首都「写真の町」北海道東川町 文化交流課
TEL：0166-82-2111(代表) E-mail：kouryu@town.higashikawa.lg.jp

2024.10.3000

映画『カムイのうた』について 【北海道 東川町】

北海道 東川町は、1903年に生まれ19歳の若さで亡くなったアイヌ文化伝承者、知里幸恵（ちり・ゆきえ）さんをモデルにした映画『カムイのうた』を製作しました。

2023年9月に完成した『カムイのうた』は、大雪山国立公園を有する東川町が、大雪山地域の自然の美しさやアイヌ文化の重要性を伝えると共に、差別のない世界を目指すため、ALL北海道の連携のもと製作を行いました。

2023年11月23日より北海道内で先行上映を開始、翌2024年1月26日からは全国70館以上の劇場で上映されました。

それぞれの都道府県内における映画館での上映が終了したのは、北海道やアイヌ文化振興等のイベント時に、「地域上映」(自主上映)として多くの皆様に鑑賞いただければ幸いです。



知里幸恵さんについて

知里幸恵さん(1903 - 1922)は、口語伝承のみで継承されてきたアイヌ文化を初めて日本語に訳した『アイヌ神謡集』の著者です。19歳という若さで生涯を終え、北海道の先住民族であるアイヌとして、いじめや差別に抗いながらも、アイヌ文化を後世に残すために尽力されました。その著書と、そこにこめられた精神によって、さまざまな人たちに感銘を与えて続けています。



写真提供 / 知里森舎



地域上映(自主上映)の申込について

イベントホールや公民館、学校施設などの上映会場をご用意できる方や団体様に、映画『カムイのうた』のブルーレイディスクを無料で貸出いたします。右記のWEBページよりお申し込みください。



カムイのうたの学校

地域上映
申込ページ

「カムイのうた」ストーリー

アイヌの心には、カムイ（神）が宿る——
 学業優秀なテルは女学校への進学を希望し、優秀な成績を残すのだが、アイヌというだけで結果は不合格。その後、1917年(大正6年)、アイヌとして初めて女子職業学校に入学したが、土人（どじん）と呼ばれ理不尽な差別といじめを受ける。
 ある日、東京から列車を乗り継ぎアイヌ語研究の第一人者である兼田教授がテルの伯母イヌイエマツを訪ねてやって来る。アイヌの叙事詩であるユーカラを聞きにきたのだ。伯母のユーカラに熱心に耳を傾ける教授が言った。「アイヌ民族であることを誇りに思ってください。あなた方は世界に類をみない唯一無二の民族だ」

教授の言葉に強く心を打たれたテルは、やがて教授の強い勧めでユーカラを文字で残すことに没頭していく。
 そしてアイヌ語を日本語に翻訳していく出来栄の素晴らしさから、教授のいる東京で本格的に頑張ることに。同じアイヌの青年・一三四（ひさし）と伯母に見送られ東京へと向かうテルだったが、この時、再び北海道の地を踏むことが叶わない運命であることを知る由もなかった…。

キャスト・映画『カムイのうた』製作概要



テル役

吉田美月喜
(よしだ・みづき)



イヌイエマツ役

島田歌穂
(しまだ・かほ)



兼田教授役

加藤雅也
(かとう・まさや)



一三四(ひさし)役

望月歩
(もちづき・あゆむ)



兼田静役

清水美砂
(しみず・みさ)



監督／脚本：菅原浩志

主演：吉田美月喜

製作：シネボイス

製作賛助：写真文化首都 北海道「写真の町」東川町、川村久恵／旭川アイヌ協議会
 アイヌ語・アイヌ文化監修：藤村久和

世界の映画祭で多数の作品賞を受賞

- ・カルカッタ国際カルト映画祭（インド）：2023年8月-9月国際長編映画部門作品賞 受賞
- ・モントリオール・インディペンデント映画祭（カナダ）：2023年秋優秀長編映画 選出
- ・グランド・シネ・カーニバルモルディブ（モルディブ）：2023年9月長編映画部門 特別賞
- ・ハーキュリーインディペンデント映画祭（スペイン）：2023年9月長編映画部門 佳作



カルカッタ国際映画祭
(インド)
国際長編映画部門作品賞



モントリオールインディペンデント映画祭
(カナダ)
優秀長編映画選出



グランドシネカーニバルモルディブ
(モルディブ)
特別賞



ハーキュリーインディペンデント映画祭
(スペイン)
佳作



映画『カムイのうた』情報について

映画「カムイのうた」関連サイト

<https://kamuinouta.jp/>
<https://moula.jp/feature/kamuinouta/>
<https://moula.jp/LP/kamui/>



『カムイのうた』
ホームページ



つながる、つづく、
カムイの想い



カムイのうた
の学校

【第1弾予告】映画「カムイのうた」

<https://www.youtube.com/watch?v=U6D11Sk-gXg>

【予告編】映画「カムイのうた」

<https://www.youtube.com/watch?v=br0JPp6mqSU>



第1弾予告



予告編

映画「カムイのうた」主題歌MV 島田歌穂

<https://www.youtube.com/watch?v=nBdfwYofUok>



主題歌



吉田美月喜



望月歩

映画『カムイのうた』メイキング映像

吉田美月喜編：<https://www.youtube.com/watch?v=5MrfBjcBdwY>

望月歩編：<https://www.youtube.com/watch?v=8cUAW8baWnY>

島田歌穂編：<https://www.youtube.com/watch?v=ldVurKXqCcw>

清水美砂編：<https://www.youtube.com/watch?v=-BKfPIToCXw>

加藤雅也編：<https://www.youtube.com/watch?v=1B3d4BeVuwl>

藤村久和編：<https://www.youtube.com/watch?v=aORWqSzTy4U>

撮影対談：<https://www.youtube.com/watch?v=IXldRjHhWgG>



島田歌穂



清水美砂



加藤雅也



藤村久和



撮影対談



映画『カムイのうた』公式ガイドブック

映画『カムイのうた』の公式ガイドブックが販売されています。

映画のストーリーや主人公テルのモデルとなった知里幸恵さんについて、出演者たちが『カムイのうた』に込めた思いなどが34ページにわたって掲載されています。

販売店：東川ミーツせんとぴゅあ店

〒071-1426 北海道 上川郡 東川町 北町 1丁目 1-2

(東川町複合交流施設 せんとぴゅあII内)



コミック「カムイのうた」

映画『カムイのうた』をもとにしたコミックが、春陽堂書店より販売されています。映画『カムイのうた』の内容を原作とし、『ゆきげしき』、『Good-byヴィーナス』を手掛けられた周南公立大学特任教授のなかはらかぜさんに作画いただきました。

原作：菅原浩志

漫画：なかはらかぜ



コミックについて

